

私たちの 家族のかたち

里親
体験談編



里親普及促進センターみやざき

『当たり前は一番大切なこと』

みなさんはご存じですか？

家庭で暮らすことができない子どもたちの存在を。

近年、メディア等により虐待や貧困などが取り上げられ、

社会における子どもたちの現状を知る機会は増えてきました。

日々の生活において、

おはよう。行ってらっしゃい。おかえり。おやすみ。

家族と一緒にご飯を食べたり、お風呂に入ったり。

こうした場面を、みなさんは何気ない日常と想像されるかもしれません。

でも、ふとした時に、立ち止まり、考えてみてください。

それが実はとても特別なことではないかと。

この冊子が多くの方の目に留まり、

子どもたちの第二の人生のスタートについて

考える機会になれば幸いです。



里親とは？

家庭のさまざまな事情で、自分の家庭で生活することができない子どもたちがいます。

こうした子どもたちを、自分の家庭に受け入れて、家庭的な雰囲気の中で愛情とまごころを込めて育てる人を「里親」と言います。

里親の種類

子どもの状況やニーズに応じて里親の種類が4つにわけられています。



子どもが実の家庭に戻るまで、もしくは自立するまでの一定の期間を養育する里親です。



虐待を受けた子どもや特性のある子どもなど、専門的な知識をもって養育する里親です。



養子縁組によって子どもの養親となることを希望する里親です。

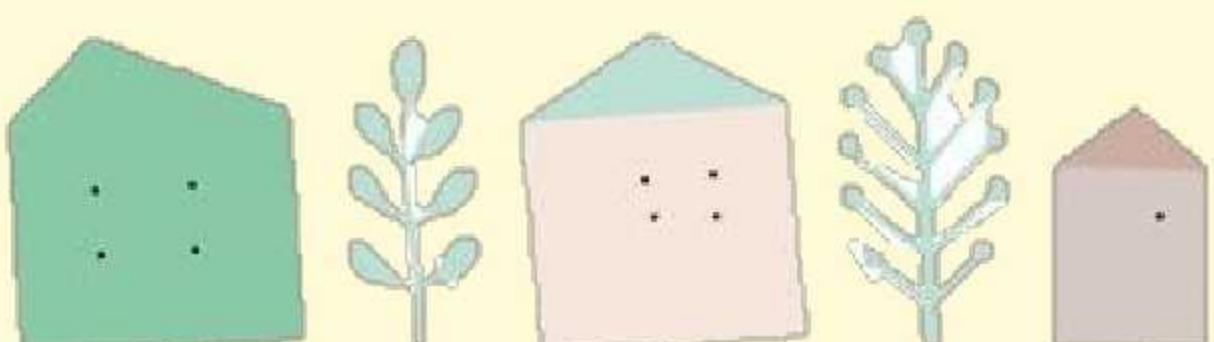


保護者が死亡などにより養育できない場合に、三親等以内の親族がその子どもを受け入れる里親です。

子どもが委託されると手当が支給されます。

里親家庭での養育は、公的養育に位置づけられています。子どもを委託された里親には、毎月、里親手当や養育に必要な一般生活費等が支給されます。

※養子縁組里親及び親族里親には、里親手当は支給されません。



NO.1

血のつながりなんて 関係ない。

もし親がいなくてさみしい思いをしている子どもがいるなら、家族になりたい。そう思ったのがきっかけでした。

養育里親・養子縁組里親



どうして里親に？

子どもに恵まれなかっただので、夫婦で「血のつながりなんて関係ない。私たちも子どもを育てたい、そしてもし親がいなくてさみしい思いをしている子どもがいるなら家族になりたい」と話しあった事がきっかけでした。

里子さんをお預かりして、 生活は変わりましたか？

子ども中心の生活に変わりました。何をするのにも子どもと一緒に大変なこともたくさんありますが、どんな風に成長していくのか楽しみが増えました。家の中がとても賑やかになり、怒ったり笑ったりと毎日忙しくなりました。



ご親族と里子さんの関係。

すんなりと受け入れてくれて可愛がってくれています。人見知りの激しい子でしたが、近所の親族の家に一人で遊びに行ったり電話をかけたりしています。親族の方も誕生日プレゼントをくれたりと良くしてくれます。

これから楽しみにしていること。

幼稚園で運動会や発表会、参観日で、家の中とは違った、頑張っている姿を見ると感動します。出来ることも増えてきて一緒に楽しんでいます。これから小学生に上がり、どんな事に興味を持つのか？どんな恋をするのか？と夢が膨らみます。

何より健康で優しい子に育ってくれれば何も言ふことはありません。



今でも、私たち夫婦が
お父さん、お母さんです。

NO.2

今年も、母の日に
カーネーションが届きました。

養育里親

どうして里親に？

「ふれあい家庭」^{*}で沢山の子どもたちを受け入れてきました。その中の一人を里親として預かって欲しいと、児童相談所からお話をあったのが始まりです。

里子さんとの思い出。

3人目の里子さんを迎えた時、近所の幼稚園に相談に行ったんですね。その時の先生方の歓迎ぶりが今でも心に残っています。制服をすぐに渡され（準備してくださいって）、いつでも入園してくださいって。受託した当時は、体が小さくて歩くのが苦手な子どもでした。

印象深いのはマラソン大会の日。周りの子どもたちは走っていました。でも、そんなことは気にしないで、先生と手を繋いでニコニコと笑顔で私たち夫婦に手を振っていました。とても嬉しかったと記憶しています。

今まで何人の里子さんをお預かりしましたか？

今までで3人お預かりしました。3人目の里子さんは、今も受託（お預かり）中です。里子さんと、今でも初めて出会った日のことを一人ひとり鮮明に覚えています。

里子さんと暮らすこととは。

自立して、結婚をした里子さんもいます。彼は今県外にいますが、今でも「おばちゃん、おばちゃん」とお嫁さんと二人で顔を出してくれます。

今年も、母の日にはカーネーションが届きました。主人には毎年好物を色々考えて送ってくれます。

何より、私たち里親が里子さんから元気をもらっています。

※ふれあい家庭

児童養護施設などに入所している子どものうち、長期休みなどに家庭に帰省することが難しい子どもを一定期間預かっていただく家庭です。

NO.3

いろいろなことを一緒に体験するようにしています。

今はなんにでも興味があります。
いろんなことが出来るようになって
とても成長を感じます。

養育・養子縁組里親

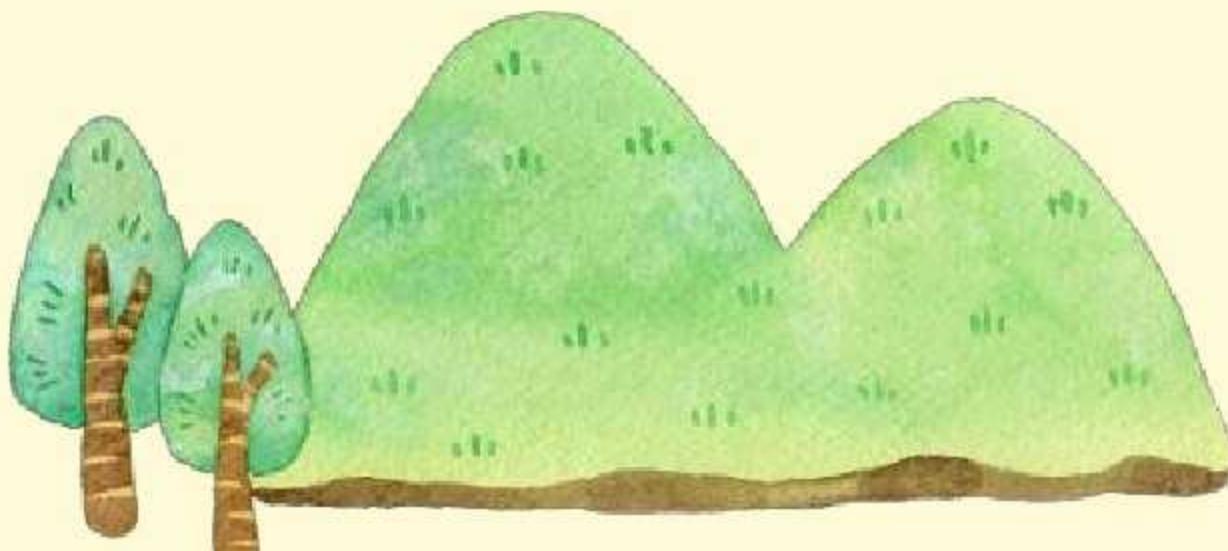


どうして里親に？

長年、不妊治療をしていましたが、授かりませんでした。諦めきれない私たちに「養子でもいいんじゃない？」と言ってくれた母の言葉をきっかけに、里親のことを調べ始めたのが最初です。

里子さんの成長を感じること。

着替え、靴を履く、一人遊び、歌を歌う・・・出来なかったことがたくさん出来るようになりました。言葉も一語から二語、今では短い文章も話せます。出会った頃は「ヨーキ」「クルマ」ぐらいしか話せなかつたので、とても成長を感じます。



里子さんと過ごす中で嬉しかったこと。

両親が、里子のことをとても可愛がってくれます。病気がちだった父はどんどん元気になっています。キャッチボールと一緒にしたいそうです。子どもが一人増えただけで周りが喜んでくれ明るくなかったことはとても嬉しいです。

子育ての中で工夫されていること。

今はなんにでも興味を持つ時期なのでいろいろなことを一緒に体験するようにしています。手作りのおもちゃと一緒に作ったり、食事のお手伝いをさせたり。コロナ禍で行動が制限される中ですが、なるべく外へ出かけて自然に触れたりしています。まだお友達が少ないので、同年代のお子さんと仲良くなればと思い、地域の子育て支援センターやイベントに参加したりしています。



子どもと共に 親も成長していく。

NO.4

子どもはいずれ社会に羽ばたいていきます。里親はそのお手伝いをさせていただいているのだと思います。

専門里親

どうして里親に？

10代で結婚をして5年以上なかなか子宝に恵まれませんでした。そんな時に仕事関係の方から、里親制度があることを聞き、初めて知りました。

専門里親になったきっかけ。

3歳でお預かりした子どもが、高校生となり私に時間の余裕が出来たことで、里親研修や里親同士の交流を図りながら勉強をしてきました。

子どもの成長と共にもっと専門的に子どものおかれた環境の変化、地域社会の多様化に対応できるよう自分自身を成長させたいと思いました。

里子さんとの出会い。

最初の出会いは3歳で、大声で泣き叫ぶだけの幼児さんでした。今でもはっきりと目に焼き付いています。

里子さんとの思い出。

私達の子どもとして迎え入れた事で、夫婦二人だけでは、味わえる事のできない、夏は海水浴、バーベキュー、学校行事、小旅行とたくさんの思い出を作ることが出来て、とても嬉しいです。

里親とは。

「里親」とは、最初は私達の「親になりたい」と思った事が一つのきっかけでしたが、子どもを育てるには決して楽しいことばかりがあるわけではなく、子どもと共に社会とのつながりを築きあげ、親も成長していく過程があってこそ一つの家族が出来上がっていくのだと思います。

里子は親を信頼し、地域に溶け込み人間関係を広げてたくさんの知識を身に付けて、いずれ社会へ羽ばたいていく。

そのお手伝いを里親はさせていただいているのだと思います。

「大丈夫」が教えること

私たち夫婦がAくんの里親をさせて頂いてから、あっという間に1年以上が経ちました。子育て初心者の私達にとって多くの不安もありましたが、多くの皆様に支えられ感謝の思いでいっぱいです。この間、Aくんといつもいろいろなことを話すよう心がけてきましたが、最近、「大丈夫」という一言が私達を支えているように感じます。

例えば、子育てに不安な私達にとって「大丈夫！」と自分自身に言い聞かせることや、相手に対して「大丈夫ですよ」と言ったり「大丈夫？」と問い合わせることがよくあります。自分や相手に対する励ましや気遣いを表す言葉ですが、この言葉を使った後は、なんだかほっとすることが多く、また相手との距離も近くなるような気がします。

一方、はっと気づくことがあります。それはAくんが言う「大丈夫」です。先日も転んで痛いはずなのに、涙をポロポロ流しながら「だいじょーぶー！」と言うのです（苦笑）。自分自身への励ましや私達への気遣いかはわかりませんが、思わず「強い子になってね」と叫んでしまいます。また、私達がどこか痛そうにしていると必ず「パパ、ママ、だいじょうぶ？」と話しかけ、続けて決まって「いたいのいたいのとんだけ～！」となります（笑）。そんなとき私達が「ありがとう。優しいね！」と言うと、とても嬉しそうな顔をします。

「大丈夫」を使う状況は様々ですが、私達にとってはまさにミラクルワードかもしれません。これからも、「大丈夫」が教える励ましや相手への気遣いの気持ちを忘れずに過ごしていきたいと感じています。そして、なによりこのことを教えてくれたAくんに感謝し、「あなたと一緒にこれからこれからも大丈夫だよ！」と思わずにはいられません。

養育・養子縁組里親

出逢いが価値感を変える

私たちは結婚当初から里親について話しあっていましたが、まずは実子を授かりたいという思いが強く、なかなか里親への一歩を踏み出せずにいました。結婚6年目の時、妻が「里親研修を受けたい」と言い、正直不安はありましたが妻に賛同し送り出しました。

妻の里親登録が完了し間もなく、当時4歳だったB君を一週間預かることになりました。最初は、何を話し、どう遊んだらよいのか分からず緊張の連続でした。

ある日のこと。公園で遊んでいた時に突然「お腹が痛い。うんこ」と言いだしうずくまつたのです。私は思わず彼を抱きかかえて走り出しましたが、間に合わずもらしてしまったのです。その瞬間、私は彼の震える体にそっと手を置き、なぜか愛おしいと思いました。不思議と臭いや汚れも全く気にならず、お尻を拭き、パンツを洗い、恥ずかしそうに下を向いている彼に、「また遊ぼう。気にしないでいいよ。」と言うと、満面の笑みを浮かべてまた一緒に遊びました。この体験が私の心を変え、彼への愛着を与えたのです。それ以来彼との距離はどんどん縮まり、あっという間に一週間が過ぎました。

施設へ帰る日、突然涙が溢れてくれました。こんな思いになるなんて誰が予想していたでしょうか。彼と過ごした日々を思い出し、心中ぽっかり穴が開いたような感覚を覚えています。

あの出会いから早3年。私も里親登録し、彼を正式に我が家に迎え入れ、今ではすっかり家族の一員です。現在、特別養子縁組の為の準備を進めています。

私は妻が里親になってくれたこと、そしてB君がこの世に生まれてきてくれた事を心の底から感謝しています。毎日楽しい事ばかりではありません。喧嘩をする時もあります。彼にとって本当に自分が親でいいのか、良い父親とは何か今でも模索中ですが、今与えられている彼との時間を大切にし、真摯な気持ちで向き合っていこうと思っています。

里親になるには

里親には認定要件があります。

養育里親

- ①保護をする子どもの養育についての理解や熱意があり豊かな愛情を有していること
- ②経済的に困窮していないこと
- ③都道府県知事が行う養育里親研修を修了していること
- ④里親本人及びその同居人が欠格事由に該当していないこと

養子縁組里親

- ①都道府県知事が実施する養子縁組里親研修を修了していること
(養育里親としての要件 (①②④) は満たされていることが前提。)

※欠格事由、専門里親、親族里親につきましてはセンターにお問合せください。

登録までの流れ

里親になるためには、県知事から里親として認定・登録されることが必要です。

Step

① 相談

里親普及促進センターみやざきに相談し説明をうけます。

Step

② 個別面談

いくつかの項目に添って、お話をうかがいます。

Step

③ 研修受講

基礎研修、登録前研修の2つの研修を受講します。

Step

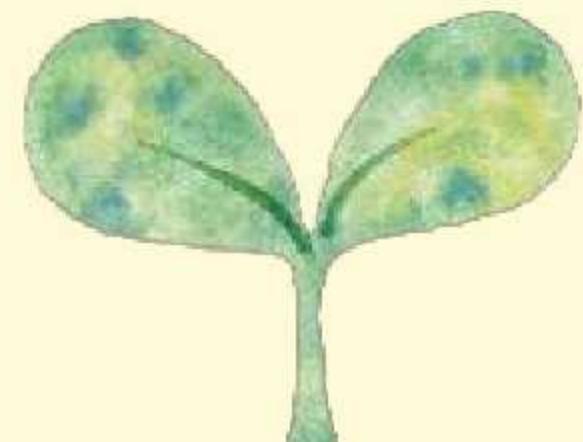
④ 家庭調査

研修受講後、里親を登録希望される方は申請を行い、児童相談所による家庭訪問・調査をうけます。

Step

⑤ 登録

県の社会福祉審議会で審査を経て、県知事から里親として認定・登録されます。

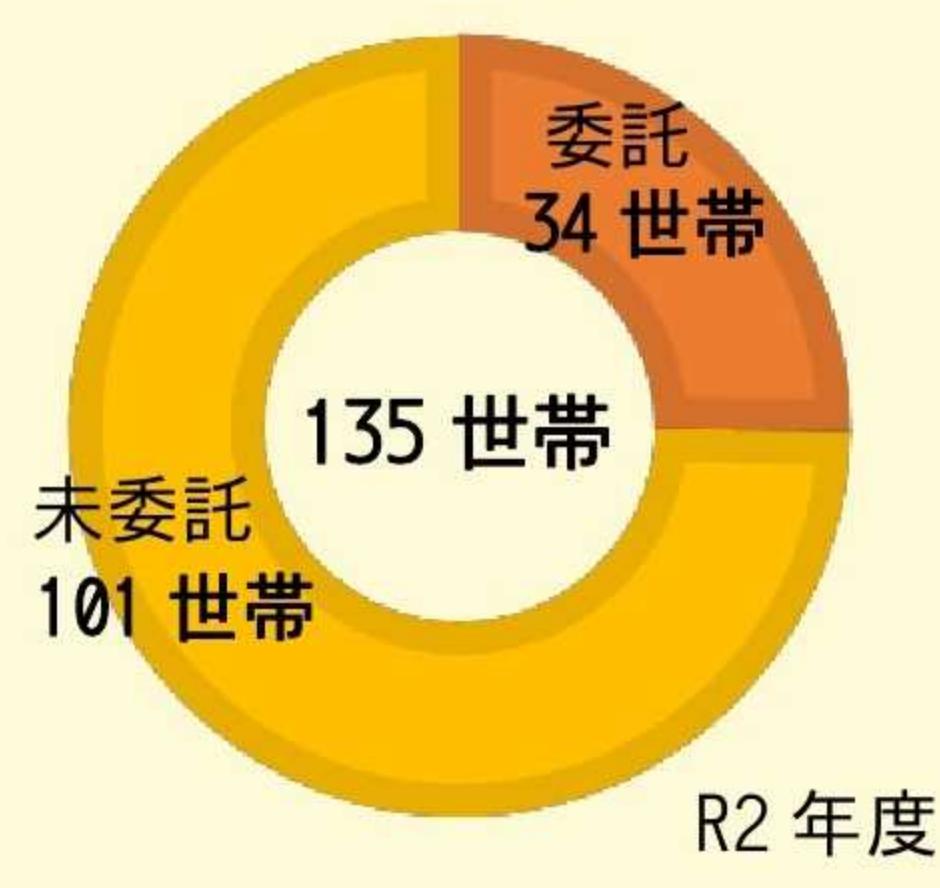


宮崎県の状況

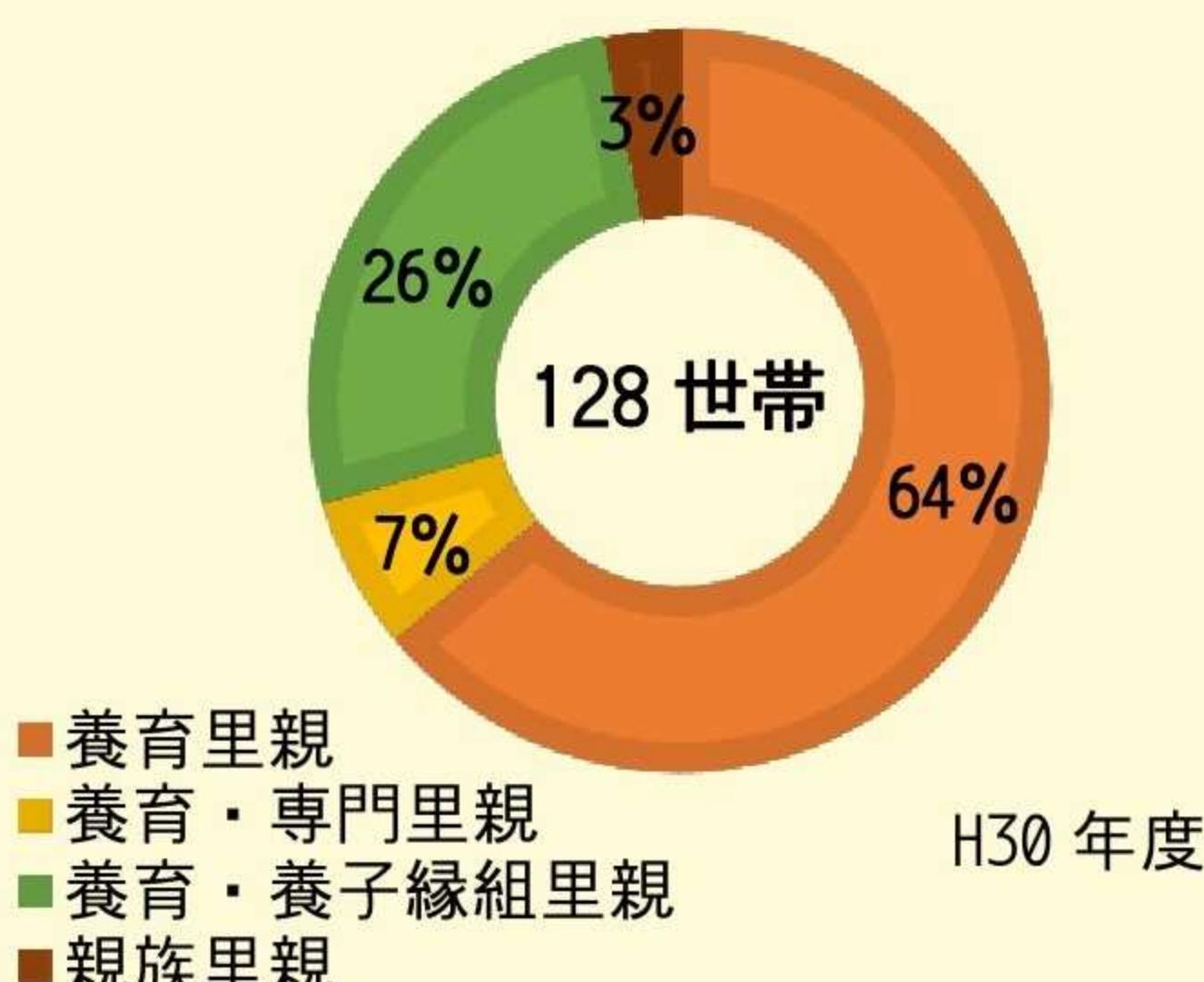
※宮崎県における里親委託推進の取組より



受託率



里親の種類



全国で約 4 万 5000 人

全国には、虐待や貧困などさまざまな事情により家庭で暮らすことができない子どもが約 4 万 5000 人。できるだけ家庭的な環境で養育することが望ましいとされています。

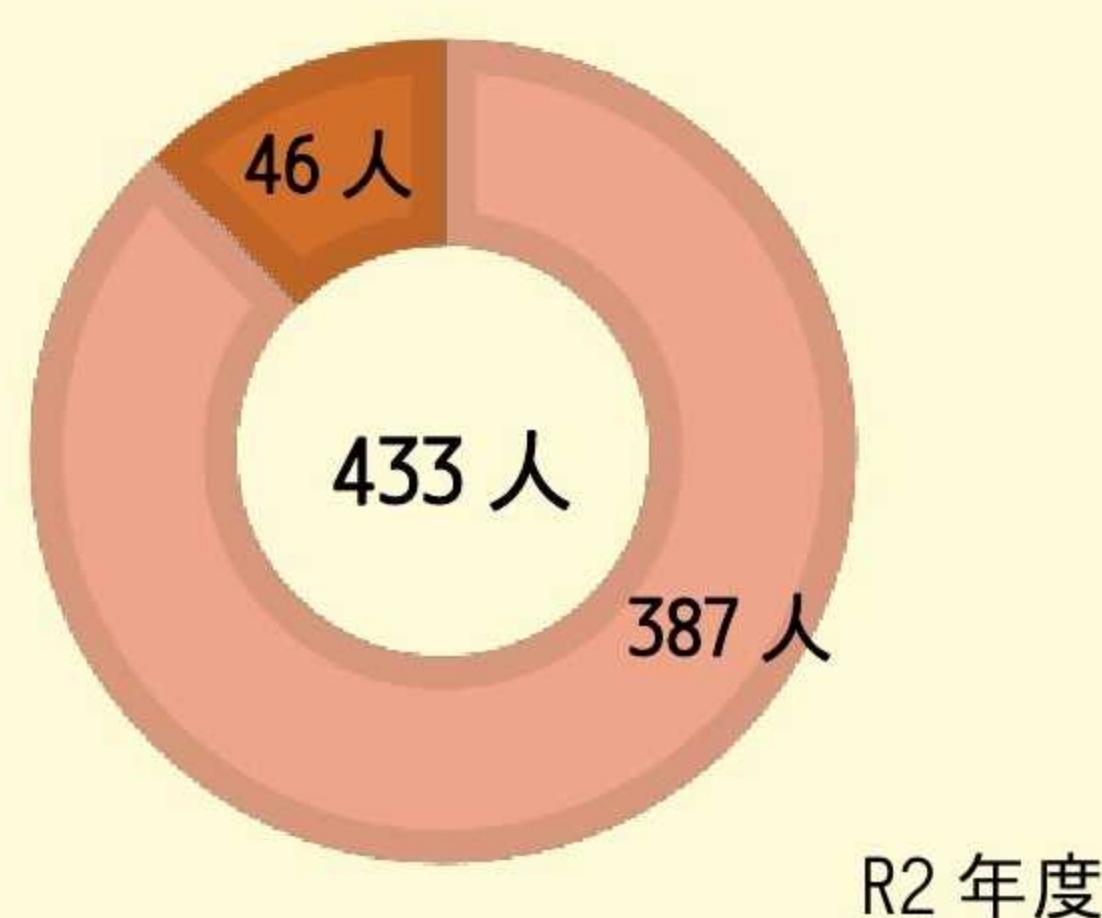
里親家庭は子どもが将来家庭を築くモデルとなり、特定の大人との愛情や信頼関係の構築など、子どもの人生に大きく影響します。

里親さんの数は足りていません。

里親さんへ子どものお預かりのお願いをする場合は、子どもの「最善の利益」を考え、子どもにあった里親さんを探すこととなります。

さまざまな子どもたちの希望に応えるためには、まだまだ里親さんの数が足りていないのが現状です。

社会的養護が必要な 子どもたちの数（県内）



■施設入所 ■里親・ファミリーホーム

里親になりたい人のQ&A



里親の年齢には制限はありますか？



法律上の規定は無く、宮崎県では年齢上限は定めておりません。



里親として登録するためには、どのくらいの期間がかかりますか？



里親として登録されるまでには、研修の受講や児童相談所による家庭訪問調査などの必要な手続を経ることになります。この間、おむね半年程度の期間を要します。



里親になったらすぐ子どもを迎えることができるのでしょうか？



里親登録順に子どもの打診があるわけではありません。里親登録後すぐに話がくる場合もあれば時間がかかる場合もあります。





里子の子育てに関する悩みは、誰かに相談できますか？



里親が孤立することなく、小さな悩みも抱え込まず相談できるよう宮崎県ではチーム養育の体制が構築されており、家庭訪問等の子育て支援や里親同士でお話できる里親サロンも実施されています。



子育ての経験がなくても里親になることができますか？



子育て経験がない方も里親として登録し、子どもを受託・養育されています。養育経験のない方が安心して子育てできるよう、乳幼児の養育に関する里親トレーニング等が実施されています。

子どもの委託について

子どもの行き先を検討する際には、保護者の同意をはじめ、年齢や発達状況、行動特徴など考慮するべき点が多くあります。

また、里親側にも希望や家庭の事情を確認するなど、その後の子どもの養育を良好なものにするために、子どもに合った里親を探し、お互いが上手くマッチするよう慎重に進められています。



里親普及促進センター みやざきのご案内

☎ 0985-20-1220
✉ satooya@kodomo-bunka.org
お気軽にお問合せください。



センター
外観

- 里親制度の普及啓発
- 里親のリクルート
- 里親登録、更新に関する法定研修の実施
- 官民一体となった包括的な里親支援に取り組むチーム養育をコーディネート

- 委託促進
- 里親訪問支援
- 里親の資質向上



時 間

月曜日から金曜日
(国民の祝日及び年末年始を除く)
10時から18時まで

※ご相談いただいた内容は、
守秘事項として厳正に管理します。

〒880-0051
宮崎市江平西1丁目5番11号
江平ビル105号
(NPO法人 みやざき子ども文化センター内)





里親普及促進センターみやざきは宮崎県から委託を受け、
NPO 法人みやざき子ども文化センターが運営しています。



協 力 養育里親・養子縁組里親・専門里親
宮崎県里親連合会

発 行 里親普及促進センターみやざき
〒880-0051
宮崎市江平西1丁目5番11号 江平ビル105号

他発行物 新しい家族のカタチ～里親という選択～



里親普及促進センターみやざき
(NPO 法人 みやざき子ども文化センター内)



0985-20-1220

<https://www.satooya-miyazaki.org>

(HP)